



# せせらぎ



技能実習生の日本語の勉強会 毎週頑張っています!! (8ページに関連記事掲載)

## 二つの就任(あいさつ)

理事長 田中雅英



ご利用者、家族・保護者の方々、地域の皆さま、日頃より当法人の運営に格別のご理解、ご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

令和3年4月、私は東京都高齢者福祉施設協議会の会長に就任いたしました。高齢協は都内にある社会福祉法人が経営する特別養護老人ホーム(以下、特養という)をはじめ1200を超える高齢者施設、事業所が加入する団体です。まず、なによりもコロナ禍における、施設経営に必要な取り組みに全力を尽くします。加えて、6月には全国老人福祉施設協議会の副会長を務めることになりました。高齢協の会長に続いて大役を担うことになり、身が引き締まる思いです。

さて、令和2年11月、世田谷区の社会的検査により、特養博士の郷では利用者2名、職員13名合わせて15名の新型コロナウイルス陽性が判明しました。その結果、最低配置基準の利用者3人に対し介護・看護職員1人の体制をぎりぎり維持できるかできないかの状況に陥りました。その時、世田谷区の声掛けにより、世田谷区内の4施設から職員応援派遣のお申し出をいただきました。職員の士気向上になりました。区内の特養が介護人材不足に苦しんでいないとは考えられませんでした。令和元年5月から11月の半年間で4施設、402床が増加したからです。実際にはユニット間の調整でシフトをまわすことができましたが、職員派遣を決定していただいた施設には心から感謝しております。社会的検査については、無症状陽性者を見つけることができ、重症化を回避できて良かったと実感しています。発症する前に対応すると、発症者が出てから対策を講じるのでは雲泥の差があるからです。

東京都に緊急事態宣言が続く中、オリンピック・パラリンピックが開催され、都内における感染急拡大が懸念されています。(寄稿時7月中旬)先を見通しづらい状況ですが、みなさまのご健康と一日も早いコロナの終息を祈っています。

## トピックス irodori 1坪ショップオープン

今年4月、玉川福祉作業所本園内に irodori のお店が出来ました。1坪サイズの小さなお店です。常に商品を見て買える場所が出来たことは、全体の売上にも大きく影響しています。自分の作品が売れる事を目の当たりにする機会が増え、利用者自身のモチベーションアップにも繋がっています。

お店は組み立て式で、場所さえあればお店ごと移動することができます。今はコロナ禍でイベントが減っていますが、いつか野外イベント



に出店し、青空の下で販売をしてみたいです。目の前の多摩川を散歩中にふらっと買い物に来てくださる方、インスタを見て来てくださる方など、平日

のみの開店ではありますが、日々お客様に来店いただいています。ビーズ刺繍のブローチや陶芸皿、機織り作品、刺し子作品、Tシャツなど、いろいろ揃えてお待ちしております。月曜日～金曜日の10:00～15:00(水曜日は午前のみ)に開店しています。

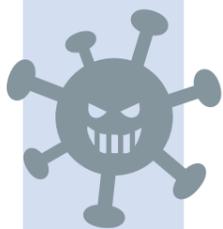


ホーム玄関前でマスクをつけての記念撮影!!



密を避けたコンパクトな行事となりましたが、笑顔あふれる素敵なひと時を過ごすことが出来ました。これからもご利用者の皆さまに安全で快適な楽しい生活を送って頂けるよう、職員一同努めて参ります。

## 高齢者施設での 新型コロナウイルスワクチン接種対応について



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が4月中旬より始まりました。世田谷区では、一般高齢者に先駆け、4月12日から高齢者施設入所者へのワクチン接種を開始しました。博水の郷 特養入所者は、4月17日と24日に1回目、5月8日と15日に2回目の新型コロナウイルス接種を実施しました。世田谷区では、日常的に入所者と接点のある職員も接種対象と打ち出してくださり、入所者と同日に接種することが出来まし



ました。職員も接種対象として、早めの一緒の接種ができたこと、世田谷区のご配慮に感謝いたします。接種に向けて何度も会議を行い、様々な準備を行いました。前回と違うという違和感に気づけるように、利用者も職員も2チームに分かれて体調不良や入院がない限り、同じメンバー、同じ職員体制を取りました。また、接種リストを作成、誘導時と接種前に利用者確認をダブルチェックし、接種間違いが起きないようにしました。しかし、前週接種済の入所者が待機列に並んでいることが発生しました。その際は接種リストを確認、看護師も前回と同じ職員で対応していたため、確実に間違いを把握することができました。

ワクチン接種後、90%以上の職員に腕の痛みがありました。37度以上の発熱があった職員も約20名、頭痛や吐き気などの症状も数名いました。ご利用者は、発熱や痛みがあったのは10名程度で、職員よりも少なかったです。

2チームに分かれて接種することで、万が一、職員に副反応が出た場合にも、勤務交代してご利用者のサービスに支障がない体制を作ることが出来ました。今回4度目の緊急事態宣言が発令されました。ワクチン接種が完璧な感染症対策ではありません。引き続き消毒や換気の徹底、3密の回避、ソーシャルディスタンスに気を付けて、感染症対策を徹底していきます。



## ホームいんぴつ10周年記念行事

ホームいんぴつは平成23年7月1日に開設し、今年で10周年を迎えることができました。これはひとえに皆さまのおかげと大変感謝しております。

しかし今の情勢では大々的な記念行事のお祝いもできず大変残念に思っております。せめてもご利用者には楽しい雰囲気になってもらえるよう手作りの装飾を施し、感染症対策を徹底しながらご利用者と職員でお祝いをいたしました。

昼食は崎陽軒の『お赤飯シウマイ弁当』、ご利用者の皆さまからは「シウマイ弁当に赤飯が入っているなん

てびっくり!」「おかずがたくさん入っていて美味しい!」と特別感のあるメニューへの感想が次々に上がりました。デザートは母のショートケーキと紅白饅頭の登場で、本格的な味わいに全員で舌鼓を打ちました。ミニゲームのあみだくじ大会では、景品の包みを期待に満ちた表情で開封するご利用者の姿に職員も嬉しくなりました。またご利用者一人ひとりに色違いのマグカップとバスタオルをお祝いとして頂戴し「これから使うのが楽しみ」と目を輝かせていました。

密を避けたコンパクトな行事となりましたが、笑顔あふれる素敵なひと時を過ごすことが出来ました。これからもご利用者の皆さまに安全で快適な楽しい生活を送って頂けるよう、職員一同努めて参ります。

日本経済新聞 2019年7月6日

ユネスコが決定!! 地元歓喜!!  
大阪初の世界遺産、  
百舌鳥・古市古墳群 登録!!



「百舌鳥（もず）・古市古墳群」の世界遺産登録が決まった6日午後、大阪では喜びの声が上がった。登録まで10年超を要した悲願達成。地元では観光振興への期待が高まった。国内最大の前方後円墳である「仁徳天皇陵古墳」にほど近い堺市のイベントホールでは、午後5時30分すぎ、登録決定でくす玉が割られ、会場には紙吹雪が舞った。」

◆ 仁徳天皇陵古墳へのアクセス ◆

新大阪駅 → 天王寺駅 (大阪メトロ御堂筋線・220円) → 百舌鳥駅 (JR阪和線・220円) → 徒歩500メートル

# 大阪府

地域包括支援部部長 竹中 毅

私は18才まで大阪府堺市で過ごしました。出身高校は「大阪府立東百舌鳥高等学校」です。

そこから自転車で10分走ると、「仁徳天皇陵古墳」があります。在学中の印象は、ただただ、うっそうとした森で…。夏のセミの大合唱を思い出すくらいです。

そんな場所が……まさか、世界遺産に登録されることになるなんて!!

卒業してから約30年…。「歴史ある堺」を世界中に知ってもらえることになったのは、地元を愛する住民の皆さんのご尽力のおかげです。

誇らしいです!!

# 大阪府

在宅サービス部 デイサービス博水の郷 齋藤まどか

私が生まれ育った枚方市は大阪とは思えないくらい大変のどかなところ。隣の守口市にあるPanasonic 本社のベッドタウンとして少しは発展しましたが、中学校の通学路には信号が一つしかなく、田んぼと川の間をあぜ道を30分かけて歩いて通っていました。さながらペンギン村のような、良く言えばナウシカの金色の草原のような景色を想像していただくのが分かりやすいかと思います。

しかしながら今回、ふるさと自慢をせねばならないとのこと、ワールドワイドウェブなどのお力を借りましたところ、3つくらい自慢できそうなことが見つかりました。

① 蔦谷家電などで有名なTSUTAYAの1号店は枚方市にある!

② 枚方市出身の有名人はV6の岡田准一! 地元の遊園地ひらかたパークの園長こと「ひらパー兄さん」も務めています

③ 七夕伝説がある! 天野川、牽牛石、<sup>かさまぎ</sup>鶴橋や、隣の交野市には機物神社、逢合橋などもあり、どうやら七夕発祥の地と名高い? ようです。

余談ですが、私が上京してから田んぼの真ん中に高速道路が建設されました。残念ながら、枚方市は道路が通っただけで乗り降りには他都市です。大きな高架が何も無い空と田んぼの間を横切っています。そんな景色でさえ今は懐かしい私のふるさと自慢でした。

※写真は地元に戻ったら食べたいものベスト3です。



▲ 田中のおうどん(左) と3代目たくちゃんのとこ焼き(右)

▶ 551の豚まん



## 日本全国 出身地紹介 職員のお国自慢

聞いてよ

### 第6回 関西地方

法人職員の出身地を、地元の暮らし、お勧めの食べもの、子供の頃のエピソードなどと共に紹介する連載コーナーです。



# 兵庫県

ホームいろえんびつ 井上 靖章

私が生まれ育った街は兵庫県神戸市です。神戸出身というと「いい所ですね」と言われることが多いのですが、横浜に通じる異国情緒と夜景の美しさのせいでしょうか。地理的には山が海に平行して迫り、山側が北、海側が南と、どこにいても東西南北が分かる街で、東京は東西南北が分かりにくいとつくづく思います。

実家の辺りは東京で言えば新宿の外れ(大久保とか)でしょうか。元町・三ノ宮といった歓楽街が近くにあり、江戸時代には遊郭があった土地で、神戸の中心街のそばです。こういう環境なので田畑など全くなく、上京後練馬区に住んだ時、初めて広大な畑を目にしました。

名物は神戸牛、洋菓子、靴(神戸の履きだおれとも言われます)等、色々ありますが、私が個人的に推したいのはパンです。パンの消費量は京都府に次いで2位だったはずですが、1日1食はパンを食べてましたね。あの美味しさを上手く表現できないのですが、水が違うのか東京のパンにはあまり感心しません。有名な明石焼きは神戸ではなく西隣の明石市が発祥です。B級ではそばめし、如何にも関西的な合理主義が生んだ食べ物だと思えますし、東京の醤油に対してこちらはソース文化な



◀ 神戸ビーンズブリッジからの夜景

んです。天ぷらにソースかけたり普通にしますから。あと、お好み焼きにご飯という食べ合わせ、あれは関西でも賛否両論かと。私は否定派です、いくら何でも…

地形のせいかもしれません。夜景は本当に綺麗ですね。異人館で有名な北野町近くにビーンズブリッジというらせん型の歩道橋がありまして、ここから神戸の街～大阪湾が見渡せるのですが絶景です。但し、ここは心霊スポットとして名高い場所、かつて特命リサーチだったかでも取り上げられ磁場が乱れる場所とか言っていました。私も何度か行ったことがあります。そっち方面の感覚はないようで普通に景色を楽しんで終わりました。

神戸より東京での暮らしの方が長くなってしまいましたが、食事にしろ買い物にしろ景色(震災後街並みが変わりました)にしろ、とても楽しめて、また物価の面でも住みやすい街だと思えます。故郷を離れて、初めて気付きました。

## 健康貯金スタンプラリー：世界一周旅行気分

# 『カラダもアタマもココロも元気に』が合言葉

用賀あんしんすこやかセンターでは、コロナ禍でも健康づくりに取り組める「健康貯金スタンプラリー」を三者連携で推進しています。

コロナ禍で感染するのは怖い、でも外に出たい、人と話したい、元気でいたい。そんな悩みを解消すべくスタートしたスタンプラリー。3回目の今回は、世界一周旅行をテーマに各国の観光名所や名物料理を巡り歩き、見事達成した方には表彰が待っています。



世界旅行に見立てたスタンプカードは職員の手作りです。

就学前のお子さんから90代まで、障害がある人もそうでない人もたくさんの方が参加し、外出や歩くことへ前向きになれると好評です。今回は、まちづくりセンターの他に、障害のある方が元気に動く「さわやかはーとあーす」にもスタンプ設置場所としてご協力いただきました。今後はさらに場所や対象を広げ、誰でも気軽に参加できるイベントに育てていきたいと思ひます。



近くのキッズルームの子どもたちも参加!!



スタンプステーションの飾り付けを「折り紙・彩の会」様よりご協力いただきました。すべて折り紙です。会場が明るく楽しい雰囲気になり華やきました。地域の方々のお力添えで交流の輪が広がることを期待しています。

スタンプラリーの協力拠点として、第1号!! 上用賀地区の障害者就労支援施設「さわやかはーとあーす世田谷」2階はパン屋さんとカフェがあります。



## 身近な福祉の相談窓口 三者連携の取り組み



あんしんすこやかセンターの「マスケット」あんすこ君  
(世田谷区の鳥：オナガ)

区内28地区のまちづくりセンター(中学校圏域に1か所)に、あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)と社会福祉協議会地区事務局が入り、「身近な福祉の相談窓口」を開設(月々土/8時30分~17時/日・祝日閉庁)しています。この三者が連携して、さまざまな相談に応じています。「要介護の母親と障がいのある娘のお宅、最近見かけないので心配」「身寄りのない高齢者、施設入所の手続きに困っている」「引きこもりの息子を社会復帰させたい」などです。相談内容に応じて、専門機関や担当組織につなぎます。相談者をたらいまわしにせず、適切な支援を受けられるように対応する「ワンストップ窓口」です。問題によっては、町会、民生委員、児童委員協議会、商店会、診療所、福祉作業所等、地域の皆さんと共に解決に向けて取り組んでいます。「住民の誰もが、住み慣れた地域で、いつまでも暮らし続けられる」ことを目指して、三者で協働しています。

## レポート1 フレイルを予防しましょう

年をとれば誰もが身心の衰えを覚えることは多くなります。「年だから、しょうがない…」と見て見ぬフリをしていると、いつの間にか心と身体の働きが弱くなったフレイル(虚弱)となってしまう。フレイルとならないためには、適度な「運動」と「栄養バランス」の取れた食生活、そして「社会活動への参加」が重要となります。

### 暮らしの保健室 in 二子玉川

約2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な活動が休止し、家族や友人と会って話をする機会が減少しています。そんな中、「暮らしの保健室」は第2波・第3波の流行にも負けず、消毒や換気などの感染症対策を講じながら、月2回の開催を続けています。

ロイヤル入居相談室から場所の提供を受け、窓を開け放ち、気持ちのいい風を感じながら、皆で運動や脳トレに取り組んだり、スマホの操作を学んだりしています。昨年度は「ふくろうクリニック」の皆さんと月2回程度開催してきましたが、「グッド訪問看護ステーション」「玉川すばる」リハビリ部の協力を得て、7月からは月3回開催予定です。これからも多事業所で連携を図りながら地域の皆さまのフレイル予防に取り組んでいきたいと思ひます。



スマートフォンの活用講習で熱心にビデオ通話の操作を習得中。



二子玉川ライズプラザモール(玉川1-15-6)にあるロイヤル入居相談室のご協力を得て開催しています。緑も多く、風通しもよい素敵な場所です。



### ◆グループホームやまぼうし◆

UR住宅シティコート二子玉川では、昨年末より外壁塗装工事が行われた関係で、「グループホームやまぼうし」の玄関先にあった花壇もすべての草花を撤去しました。6月16日(水)、土だけとなった花壇に、入居者のご家族とNPO法人「GreenWorks」代表の先生が、土の入れ替えと新しい花の苗木を植えに来てくださいました。一年草と多年草がバランスよく配置され、季節折々の花々を楽しめるようになっていきます。コロナ禍でなかなか屋外での活動ができず、ストレスのたまりやすい環境の中、入居者の皆さまにも、外気浴をしながら綺麗に咲く花を楽しめると大好評です。玄関先にテーブルとイスを設置したので、近くにお越しの際は、是非お茶を飲みながらお花を楽しんでいってください。



一年草と多年草をバランスよく植え下されました。



きれいな花を見ながらの外気浴。

### ◆新入職員がたくさん入職しました◆

博水の郷では、令和2年度から令和3年度にかけて、18名の職員が入職しました。現在、感染症対策を徹底しながら、夜勤までの業務を一生懸命習得しています。

その中でも、令和3年2月にベトナムからの技能実習生3名が入職しました。新型コロナウイルスの世界的流行する中、異国の地に降り立ちました。彼女たちは、各ユニットのリーダーがエルダー(指導者)となり、介護技術の習得と、利用者、職員とのコミュニケーションを通して日本語を覚えていきます。

現在は、毎週金曜日の午後、「介護技能実習評価試験」の合格を目指して、日本語講師による勉強会を実施し、更に詳しい日本語の勉強をしています。介護は普通のコミュニケーションに加えて、介護・医療の専門用語がたくさんあります。

入職して半年が過ぎようとしています。皆少しずつ利用者や職員との会話が増えてきています。表紙の写真は、技能実習3名の日本語勉強会の様子です。「ユニットの職員だけでなく、施設全体の職員さんが、優しく話しかけてくれるので嬉しい。毎日楽しいです。」と言ってきています。

試験合格目指して頑張れ!(表紙写真参照)

### 法人寄附について

大三島育徳会は、多くの皆さまから様々な寄附品や寄附金を頂戴しております。数ある法人の中から、当法人を選んで下さったことに、深く感謝申し上げます。いただいた御寄附は、法人運営に活用させていただいています。

今回は、2月に上京してきたベトナムの技能実習生に、ご利用者のご家族から、石鹸とハンドクリームのご寄付を頂きました。とても喜んでいました。心温まるプレゼントをありがとうございました。



#### ◆寄附金のお礼◆

日本たばこ産業株式会社 東京支社 金30万円  
鈴木宏忠様 金10万円  
匿名希望 金10万円 1名

#### ◆寄附金のお礼◆

植竹祐子様 空気清浄機「エアドッグ」2台  
河原農園 うえっばら体験農園 河原みかん園  
代表 河原正幸様 男性下着50枚他  
笹田多満恵様 車いす用スロープ2台 ビジネスチェア1台  
匿名希望 オムツ 1組  
匿名希望 マスク他感染症対策物品 2組

貴重なご厚志ありがとうございました。  
(令和2年12月~令和3年7月)

### せせらぎ 第15号

発行日 2021(令和3)年8月00日  
発行者 せせらぎ広報編集委員会  
発行所 社会福祉法人 大三島育徳会  
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6  
TEL 03-5491-0340  
FAX 03-5491-0343  
<http://www.oomishima.jp/>

「使用した掲載写真は、ご本人とご家族・関係者の同意を得ております」

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が長引く中、東京オリンピックが開幕した。利用者に応援する旗を作ってお渡し、一緒に応援している。利用者Aさんは「がんばれ!がんばれオリンピック!!」と、ずーっと旗を振ってくれていた。ほほえましいとともに、心の中で「あれ??がんばれ!がんばれ!ニッポンじゃないの?」と思った自分が少し恥ずかしかった。毎日毎日たくさんの感動をありがとうございます。チャンネルを変えすぎてテレビのリモコンが「いい加減にして…」とストライキを起こしそうです。「がんばれオリンピック!がんばれニッポン!がんばれエッセンシャルワーカー!」(Y)